

白内障クリニカルパス

| 手術前日(入院日) | | 手術当日 | 手術後1日目(退院日) |
|------------------------|---|---|---|
| 右目(月 日) 左目(月 日) | | 右目(月 日) 左目(月 日) | 右目(月 日) 左目(月 日) |
| 観察 | 状態に合わせて、体温や血圧をはかります  | 眼の痛み、充血、頭痛、目やに、吐き気などの観察を行います。少しの変化でも医師・看護師にお知らせください ベッドの周りに危険なものがないか確認します 危険なく歩行できているか確認します | |
| 食事 | 普通食(治療食の場合もあります) | 12時前の手術の場合手術の2時間前から、12時以降の手術の場合手術の3時間前からは飲んだり食べたりできません | 普通食(治療食の場合もあります) 眼科検査後、退院になります 昼食が不要の方はお伝えください |
| 清潔 | 制限はありません *手術当日は入浴、洗髪はできませんので入浴しましょう  | 朝洗顔をしましょう  入浴できません | 入浴ができます 眼帯が取れれば水で洗顔できます(目に汚れた水や汗が入らないように注意しましょう) 洗髪は目をぬらさぬように介助で行うことができます *通常の洗髪・洗顔は手術後1週間目からできます 髭剃りができます(電気かみそりが使えます)  |
| 排泄 | | 手術後はトイレ以外はなるべく安静にしてください 転倒予防のため最初のトイレは看護師が付き添います。(夜間など必要時は看護師を呼んでください) | |
| 診察 | | 朝(7時頃)に散瞳の点眼後、8:30頃から病棟で診察があります | 8:30頃から病棟で診察があります |
| 処置 | | 手術2時間前から15分毎に散瞳の点眼があります *点眼を開始したら、部屋にるようにしてください | |
| 検査 | | | 外来で眼の検査があります  |
| 薬物療法 | 点滴 | 手術中のみ点滴を行います(手術室で針は抜いてきます) | |
| | 内服 | 常用薬を看護師がお尋ねします 医師の中止の指示がなければ、継続して飲んでください | 薬剤師から手術後の内服について説明があります(術後1日目になることもあります) 夕食後から抗生剤をお飲みください |
| | 点眼 | 常用薬を看護師がお尋ねします 持参の点眼薬は、医師に確認後継続かお伝えします 外来で処方された点眼を継続してください 眼前に手術する側の眼に感染予防の軟膏を塗ります | 診察後から目薬をさしましょう 看護師と一緒に点眼方法を確認しますので、お部屋でお待ちください *点眼の時間は朝、昼、夕、寝る前で都合のよい時間に行ないましょう |
| 説明指導 | 病棟内の構造と、入院生活上の注意点を説明します 今までにかかった病気について、看護師が伺います 看護師から手術前後についての説明があります 午後3時すぎに手術予定時間をお知らせします 同意書の提出をお願いします クリーンコットンを用意しましょう (手術後眼の周囲を拭くのに使います) スリッパでは滑りやすいため、靴を履きましょう | 病衣へ着替えをしましょう  手術に行く前に手洗いをおススメください 手術に行く前までにメガネ・入れ歯・指輪・時計 かつら・アクセサリーなどは外しましょう 手術室までの往復は車椅子で行きます 手術は部屋を出てから帰るまで約1時間です 痛みの程度は数字の0から10(0:痛みなし 10:すごく痛い)で伝えましょう 片目での生活のため注意してください(階段の使用は避けましょう。また必要時はベッド柵を使用しましょう) | 退院後の生活について看護師から説明をします 退院指導「白内障手術を受けられた方へ」の用紙をお渡します 診察券と次回の予約券をお渡します 退院後の薬について薬剤師から説明があります |
| 目標 | | 手術後の留意点ができる(打撲や圧迫をしない、眼帯を外したり、不潔な手で眼に触れたりしない) 合併症の出現による変化があった時に伝えることができる 創部の痛みなく過ごす事ができる | 点眼が自らもしくは家族により清潔に点眼ができる 退院後の生活における留意点ができる |

* 症状や経過によっては、スケジュール通りにならない場合がありますので、ご了承ください。

* 疑問や質問等がありましたらスタッフに確認してください。

2003年12月作成(2017年10月改訂) 聖隷浜松病院 B4病棟作成